

平成28年度 不祥事防止研修報告 1

日時：平成28年 8月25日（木）
担当：高木教諭
テーマ：いじめ防止
内容：いじめの定義・いじめ防止の基本的な考え方・いじめられる側の心理等について共通認識を持つための理論研修後、いじめ対応のロールプレイングを行った。

【研修の様子の一部】

被害者の児童の保護者に「最近～君が悪口を言うので、学校が楽しくないと言っている。」という相談を受けた。

1. 役割分担

児童役（被害者・加害者各1人） 先生役2人 傍観者役

2. ロールプレイングの実際

①事実確認 児童それぞれ個別で事実確認をする。

Point 被害者へは、気持ちに共感すること

加害者へは、「本当は何を言いたかったのか。」「相手にどうしてほしかったのか。」「これからどうすればよいか。」考えさせること

②複数対応 一人が話を聞き、もう一人が記録する。

③謝罪の場 互いの事実を照らし合わせて、いけなかったことを謝罪させる。

Point 被害者の立場に立って指導

約束したことは、指導者もメモして記録に残しておく。

—被害者児童への対応—

C：「来るな。バイキンがうつると言われた。」

T：「どんな時に言われるの。」

C：「トイレの後によく言われて悲しい。」

T：「よく言われるんだ。そりゃ悲しくなるね。」…

—加害者児童への対応—

T：「〇〇ちゃんに来るなとかバイキンがうつるとか言ったことあるの。」

C：「ある。」

T：「どうして言うのかな。」

C：「トイレに行った後、手を洗わずに体をさわってくるのがいやじゃけえ言う。」

T：「どうしてほしかったの。伝えたいことはある。」

C：「手を洗ってきれいにしてほしい。」

T：「やってほしいことは、手を洗って清潔にすることなのね。」…

どんなことをいつごろからきっかけはだれかなどの事実を確認する。

事実を確認し、これからどうするか考えさせて言わせる。書かせる。
*約束したことは、指導者もメモして記録に残しておく。



3. シェアリング

いじめは、学校全体で「許されないこと」という認識を持ち、被害者児童の気持ちを理解しながら指導をする。自分のクラスだけでなく、神石小学校全体の問題として対応しよう。